

N E C

Express5800 シリーズ

ESMPRO[®]/ACBlade マルチサーバオプション

Ver3.0

6 ライセンス

UL1046-015

セットアップカード

ごあいさつ

このたびは ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプション Ver3.0（6ライセンス）をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本書は、お買い上げ頂きましたセットの内容確認、セットアップの内容、注意事項を中心に構成されています。ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプション Ver3.0（6ライセンス）をご使用になる前に、必ずお読み下さい。

Windows[®] 2000、Windows[®] Server 2003、Microsoft[®] は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
ESMPRO[®] は日本電気株式会社の登録商標です。

目次

| | | |
|-----|--|----|
| 第1章 | 製品内容..... | 4 |
| 第2章 | セットアップの準備..... | 4 |
| 2.1 | ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションのセットアップ環境..... | 4 |
| 2.2 | Express5800/BladeServer へのセットアップに関して | 5 |
| 2.3 | Express5800/BladeServer のHW セットアップに関して | 6 |
| 第3章 | セットアップの方法..... | 7 |
| 3.1 | ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションのインストール..... | 7 |
| 3.2 | ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションのアンインストール..... | 9 |
| 第4章 | 注意事項..... | 11 |
| 4.1 | セットアップ関連..... | 11 |
| 4.2 | アンインストール関連..... | 11 |

第1章 製品内容

ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプション Ver3.0 (6ライセンス) は、次の内容で構成されています。
まず、添付品が全てそろっているかどうかの確認を行って下さい。

- | | |
|---------------|------|
| ・Key FD | 1枚 |
| ・ソフトウェアのご使用条件 | 1部 |
| ・お客様登録カード | 1部 |
| ・セットアップカード | (本書) |

第2章 セットアップの準備

ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションをご使用になるためには、マルチサーバ構成内に管理サーバとして ESMPRO/ACBlade 管理オプション Ver3.1 がセットアップされているサーバが必要です。ESMPRO/ACBlade 管理オプション Ver3.1 のセットアップ方法は「ESMPRO/ACBlade 管理オプション Ver3.1 セットアップカード」を参照してください。

2.1 ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションのセットアップ環境

ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションをセットアップするためには、次の環境が必要となります。

□ ハードウェア

- | | |
|-------------|-------------------------------|
| 対象機種 | : Express5800/BladeServerシリーズ |
| メモリ | : 2. 5MB以上 |
| 固定ディスクの空き容量 | : 4. 0MB以上 |

注意: Express5800/420Maは、ESS RL2003/03より対応しております。

□ ソフトウェア

- ・ Windows[®] 2000 Server
- ・ WindowsServer2003/SmallBusinessServer/StandardEdition/EnterpriseEdition
(ESS RL2003/06より対応)

※ ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションはMicrosoft[®] Windows[®] 2000 ServerまたはWindows[®] Server 2003上で動作するアプリケーションソフトです。ご使用になる際には、それらのOSがセットアップされていることが必要です。

※ サーバには予めESMPRO/ServerAgentをセットアップすることをお勧めします。
特にExpress5800/BladeServerシリーズの場合、ESMPRO/ServerAgentと連携することにより、サーバが持つIPMI機能を使用することが可能になります。IPMI機能を使用することによりセットアップ時に必要なHW情報を取得可能になり、セットアップ作業が容易になります。

2. 2 Express5800/BladeServer へのセットアップに関して

Express5800/BladeServerへESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションをセットアップする方法として、3つの方法があります。ご利用の環境に応じて選択してください。

- I. ESMPRO/DeploymentManager のアプリケーションの自動インストール機能を利用して、OS インストール時に自動インストールする方法。

→ 「ESMPRO/ACBlade 管理オプション Ver3.1 セットアップカード」の
「第6章 ESMPRO/DeploymentManager を使ったインストール方法」の項を参照してください。

※この場合、本製品をセットアップする複数のサーバに自動インストールすることが可能です。

- II. Express5800/BladeServer に CRT、キーボード、マウス、FD ドライブ、CD-ROM ドライブを接続してローカルインストールする方法

→ 「Express5800/BladeServer シリーズ ユーザーズガイド」を参照して、
Express5800/BladeServer に CRT、キーボード、マウス、FD ドライブ、CD-ROM
ドライブを接続し、Express5800/BladeServer から FD ドライブ、CD-ROM ドライブが
アクセス可能な状態にします。
その後「第3章 セットアップの方法」に従ってセットアップしてください。

※この場合、本製品をセットアップするすべてのサーバで、セットアップの作業を行ってください。

- III. 予め、Express5800/BladeServer の Windows 2000 Server または Windows Server 2003 にターミナルサービスを、クライアントマシンにターミナルサービスクライアントをセットアップし、ターミナルサービスクライアントから、ターミナルサービスで Express5800/BladeServer にログオンしてインストールする方法

→ ターミナルサービスのセットアップについては、「Express5800/BladeServer シリーズ
ユーザーズガイド」の「導入編」→「ターミナルサービスについて」を
参照してください。

ターミナルサービスを使った Express Server Startup 製品のセットアップ方法については、Express Server Startup パッケージに添付の「ご使用上の注意」に説明があります。

その説明に従い、Express5800/BladeServer 上からターミナルサービスクライアントマシンの FD、CD-ROM ドライブをネットワークドライブで割り当てた後、「第3章 セットアップの方法」に従ってセットアップしてください。

「第3章 セットアップの方法」で、媒体を挿入する FD、CD-ROM ドライブはターミナルサービスクライアントマシンの各ドライブに読み替えてください。
またセットアップ中に入力する FD、CD-ROM ドライブのドライブ名の指

定は Express5800/BladeServer 上からターミナルサービスクライアントマシンの各ドライブをネットワークドライブで割り当てたドライブ名に読み替えてください。

※この場合、本製品をセットアップするすべてのサーバで、セットアップの作業を行ってください。

2.3 Express5800/BladeServerのHWセットアップに関して

(1) システムBIOSの設定に関して

Express5800/BladeServerをESMPRO/AutomaticRunningController製品群で自動運転するために必要な設定を行ってください。

システムBIOSの変更方法に関しては、「Express5800/BladeServerシリーズ ユーザーズガイド」の「ハードウェア編」→「システムBIOS ～SETUP～」を参照してください。

(ア) AC-LINKの設定 「System Hardware」→「AC-LINK」

Express5800/BladeServerへESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションをインストールし、連動サーバとして使用する場合は、[Last State]を設定します。

(イ) DC-LINKの設定 「System Hardware」→「DC-LINK」

Express5800/BladeServerへESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションをインストールし、連動サーバとして使用する場合は、[Disable]を設定します。

注意：「System Hardware」→「DC-LINK」の項目は、BladeServerの機種によっては存在しません。

存在しない場合は、設定の必要はありません。

2003年6月時点 Express5800/420La、410Eaに存在、420Maには存在しません。

(ウ) リモートパワーオンの設定 「System Hardware」→「Wake On Events」→「Wake On LAN」

制御サーバ、連動サーバのどちらで使用する場合も、[Enable]を設定します。

第3章 セットアップの方法

3.1 ESMPro/ACBlade マルチサーバオプションのインストール

- (1) ラベルに『Express Server Startup CD-ROM Express5800/100シリーズ用#1 (1/3)』と書かれたCD-ROM媒体をCD-ROMドライブに挿入します。
- (2) [Express Server Startup]を起動します。
(起動手順については次のセットアップカードを参照して下さい)
・Express5800シリーズ
Express Server Startup (Windows® 2000版)
- (3) 「ESMPro/ACBladeマルチサーバオプション」のセットアップには「一括インストール」と「個別インストール」の2通りの方法があります。以降、それぞれの方法について説明を行います。

◆ 一括インストールの場合：

[Express Server Startup] から、【インストール】－【一括インストール】を選択すると次のダイアログボックスが表示されます。

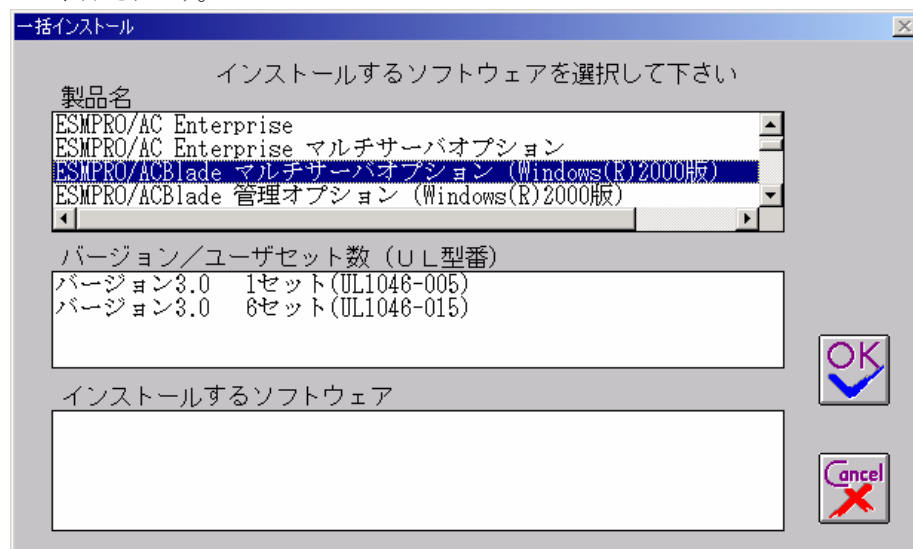


図1 インストールするソフトウェアの選択画面

- ① 「製品名」一覧から、「ESMPro/ACBlade マルチサーバオプション Windows版(R)2000版」をダブルクリックします。
- ② 選択した「製品名」の「バージョン/ユーザセット数」が「バージョン/ユーザセット数 (UL型番)」に表示されますので、「バージョン3.0 6セット(UL1046-015)」をダブルクリックします。
- ③ 「インストールするソフトウェア」に「ESMPro/ACBlade マルチサーバオプション バージョン3.0 6セット (UL1046-015)」と表示されますので「OK」ボタンを押します。
- ④ 以降、インストール先ドライブ名、KeyFDをセットするドライブ名、氏名/会社名の入力を行います。
- ⑤ 「ソフトウェア名 ESMPro/ACBlade マルチサーバオプション (Windows版(R)2000版) バージョン3.0(UL1046-015)のKeyFDをドライブ X: にセットして下さい」と表示されます (XはKeyFDをセットしたドライブ名) のでKeyFDをドライブ X: にセットして「OK」ボタンを押します。
- ⑥ ファイルの転送が開始されます。
- ⑦ (4)へ進みます。

◆ 個別インストールの場合：

- ① [Express Server Startup]から、【インストール】 - 【個別インストール】を選択します。
- ② KeyFD をセットするドライブ名の入力を行い、「OK」ボタンを押します。
- ③ 図 1 と同様の画面が表示されますので、【一括インストール】の場合の手順①、②と同様にして「製品名」と「バージョン／ユーザセット数（UL 型番）」の選択を行い「OK」ボタンを押します。
- ④ 氏名／会社名、の入力を行い「OK」ボタンを押します。
- ⑤ ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションのセットアップダイアログが表示されます。
- ⑥ 「続行」ボタンを押します。
- ⑦ インストール先のフォルダを入力するダイアログボックスが表示されます。
- ⑧ ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプション をセットアップするドライブ、フォルダを決定します。
パスを入力し直すと、任意のドライブ、フォルダにセットアップすることができます。入力が完了したら「続行」ボタンを押します。
- ⑨ フォルダ確認ダイアログが表示されますので、インストール先のフォルダに誤りのないことを確認して「続行」ボタンを押します。入力をやり直す場合は「戻る」ボタンを押して⑦ からやり直します。
- ⑩ ⑨ で「続行」ボタンを押すとファイルの転送が始まります。
- ⑪ 「セットアップは完了しました」とメッセージが表示されるとセットアップは終了です。
- ⑫ (4) へ進みます。

(4) 次のダイアログボックスが表示されるとセットアップは終了です。

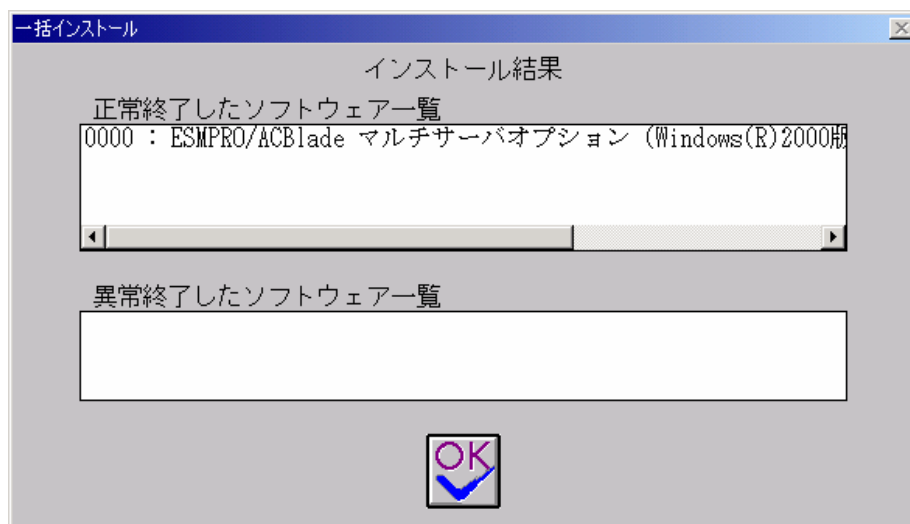


図2 インストール結果表示ダイアログ

注) 個別インストールを行った場合、ウィンドウタイトルは「個別インストール」になります。

(5) [Express Server Startup]を終了して、システムの再起動を行って下さい。

注意

セットアップの実行中に<終了>および<キャンセル>ボタンを押すと、セットアップ中止の確認のメッセージが表示されます。そのメッセージボックスで<終了>ボタンを押すと、セットアップは中止されます。その場合、途中で転送されたファイルの削除は行われませんのでご注意ください。

3.2 ESMPro/ACBlade マルチサーバオプションのアンインストール

- (1) ラベルに『Express Server Startup CD-ROM Express5800/100シリーズ用#1 (1/3)』と書かれているCD-ROM媒体をCD-ROMドライブに挿入して下さい。
- (2) [Express Server Startup]を起動します。
(起動手順については次のセットアップカードを参照して下さい)
 - ・Express5800シリーズ
 - Express Server Startup(Windows® 2000版)
- (3) 「ESMPro/ACBlade マルチサーバオプション」アンインストールまでの手順
[Express Server Startup]から、【アンインストール】を選択すると次のダイアログボックスが表示されます。

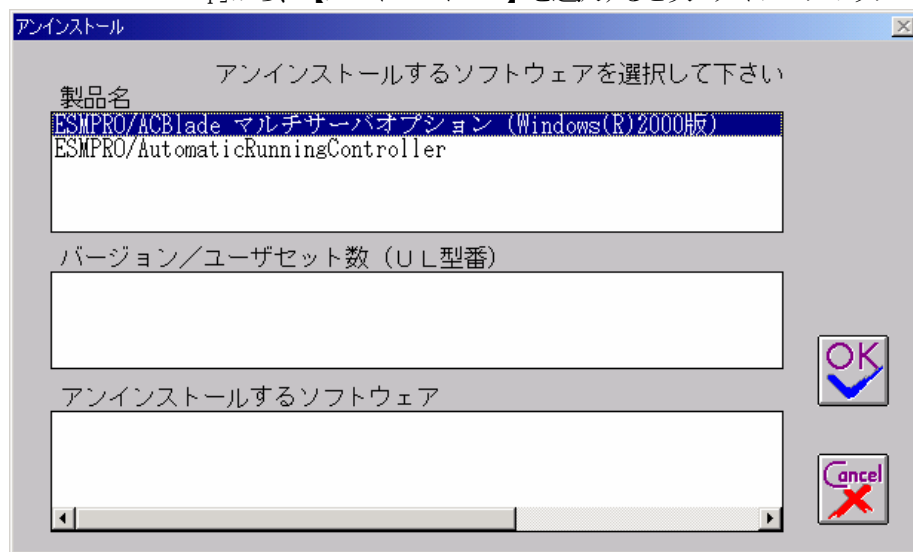


図3 アンインストールするソフトウェアの選択ダイアログ

- ① 「製品名」一覧から、「ESMPro/ACBlade マルチサーバオプション」を選択します。
- ② ① で選択した「製品名」のバージョン/ユーザセット数が「バージョン/ユーザセット数 (UL型番)」に表示されますので「バージョン3.0(UL1046-015)」を選択して下さい。
- ③ ② の選択が終わりますと、「アンインストールするソフトウェア」に「ESMPro/ACBlade マルチサーバオプション バージョン3.0 6セット (UL1046-015)」と表示されます。
- (4) 「OK」ボタンを押し、KeyFDをセットしたドライブ名の入力を行います。
- (5) 「ソフトウェア名 ESMPro/ACBlade マルチサーバオプション(Windows(R)2000版) (UL1046-015) のKeyFDをドライブ X: にセットして下さい」と表示されます (XはKeyFDをセットしたドライブ名) ので、KeyFDをドライブ X: にセットして「OK」ボタンを押します。
- (6) アンインストールが開始されます。

- (7) 「アンインストールは完了しました。」とメッセージが表示されます。
- (8) 「ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプション」アンインストールの終了状態が表示されます。

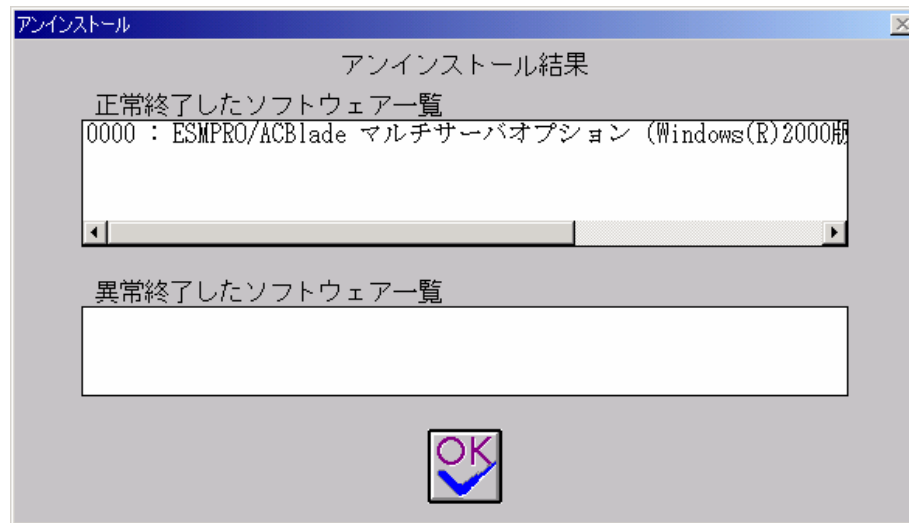


図4 アンインストール結果表示ダイアログ

- (9) [Express Server Startup]を終了して下さい。

第4章 注意事項

ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションのご使用にあたり、次の事項ご注意ください。

4.1 セットアップ関連

- (1) ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプションVer3.0は、ESMPRO/AC Enterprise Ver3.1、ESMPRO/ACBlade 管理オプション Ver3.1 のオプション製品です。従って、ESMPRO/AC Enterprise Ver3.1、ESMPRO/ACBlade 管理オプションVer3.1をインストールし、AC Management Console (AMC) 機能にて、本サーバを制御対象として登録してある制御サーバが、LAN上に必要です。設定方法の詳細については「ESMPRO/ACBlade 管理オプション Ver3.1 セットアップカード」、「ESMPRO/AC Enterprise Ver3.1 セットアップカード」を参照してください。

4.2 アンインストール関連

- (1) アンインストール可能な製品名一覧に「ESMPRO/AutomaticRunningController」が表示されますが、これを選択するとアンインストールは正常に終了されません。「ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプション」がインストールされている環境では「ESMPRO/AutomaticRunningController」は選択しないようご注意ください。
「ESMPRO/ACBlade マルチサーバオプション」のみを選択し、アンインストールを実行すると「ESMPRO/AutomaticRunningController」は表示されなくす。